

各関係機関・団体の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成21年度発生予察技術情報第12号（果樹カメムシ類）について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので送付します。

平成21年度技術情報第12号

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）の誘殺数が、8月第2半旬から増加し、一部の地域で果樹園への飛来が認められた。本年のヒノキ球果量は全体的に少なく、すでにヒノキから離脱を開始している可能性が高い。今後、果樹園へ飛来し、加害する恐れがあるので注意が必要である。

1 対象作物 カンキツ、ナシ、カキ

2 情報の根拠

- (1) 薩摩川内市東郷町では、予察灯へのチャバネアオカメムシの誘殺数が8月第2半旬から増加し、第4半旬で320頭（前年689頭、平年188頭）、第5半旬で416頭（前年1,304頭、平年188頭）であった。垂水市では、ツヤアオカメムシの誘殺数が8月第4半旬で増加している。鹿屋市細山田でも、ツヤアオカメムシが8月第2半旬に149頭、チャバネアオカメムシが8月第3半旬に408頭誘殺された（表1、図1）。
- (2) 出水市や薩摩川内市では、8月中旬から山林に近い一部のカンキツ園やナシ園でカメムシ類の被害果が確認された。
- (3) ヒノキでの寄生虫数は、12地点のうち9地点で減少傾向が認められ、成虫の離脱が始まっている可能性が高い（表2、図2）。
- (4) 8月下旬のヒノキ球果での平均口針鞘数は17.1本/果（前年15.0）で、8月上旬の10.7本/果（前年4.6）よりも増加している（図2）。北薩地域では、ヒノキからの離脱の目安となる25本/果を超えている地点も認められた。
- (5) 本年のヒノキ球果量は、地域間差があるものの全体的に少程度で前年よりも少なく、今後、餌不足によりヒノキから早期に離脱して局地的に果樹園へ飛来する可能性がある。

3 防除上注意すべき事項

- (1) カメムシ類の飛来は地域間差、ほ場間差があるので、朝夕に園内外を見回り、飛来を認めたら直ちに防除する。
- (2) 山林（ヒノキ、スギ）に近い果樹園ほど飛来数が多くなる傾向があり、特に、防風樹としてヒノキを植栽している園地では注意する。
- (3) 飛来を認めた場合、一回目の防除は残効の長いネオニコチノイド系薬剤または合成ピレスロイド系薬剤を選択する。合成ピレスロイド系薬剤は、ハダニ類の発生を助長するので散布後の発生に注意する。
- (4) 防除にあたっては、防除薬剤の使用回数や使用時期を厳守し、収穫期の近い樹種では、収穫開始予定日を想定して農薬を選定する。
- (5) 黄色蛍光灯（波長500～600nm）を集団点灯するとチャバネアオカメムシへの飛来防止効果が高い。

<参考資料>

表1 予察灯におけるカメムシ類の誘殺状況（7～8月）

ツヤアオカメムシ												
半旬	垂水市		南さつま市 <sup>1)</sup>		いちき串木野市 <sup>2)</sup>		薩摩川内市 <sup>3)</sup>		出水市		鹿屋市 <sup>4)</sup>	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	
7月	1	11	18	4	64	2	57	6	26	3	19	5
	2	5	14	0	30	4	29	4	13	2	23	4
	3	6	30	4	22	8	26	14	11	26	8	6
	4	3	15	3	29	6	23	3	10	20	18	4
	5	2	27	2	29	7	18	2	7	3	23	47
	6	20	34	10	36	4	20	3	12	3	16	132
8月	1	7	26	6	44	3	56	0	38	0	28	103
	2	10	13	2	59	4	178	3	47	1	43	<b>149</b>
	3	17	12	5	62	2	115	8	51	7	122	37
	4	68	16	5	36	0	96	7	34	18	103	24
	5	48	21	15	31	0	50	20	30	7	31	37

チャバネアオカメムシ												
半旬	垂水市		南さつま市 <sup>1)</sup>		いちき串木野市 <sup>2)</sup>		薩摩川内市 <sup>3)</sup>		出水市		鹿屋市 <sup>4)</sup>	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	
7月	1	49	47	0	36	3	53	33	103	5	8	5
	2	11	26	0	13	2	48	59	65	5	4	3
	3	27	25	2	15	6	48	75	71	12	3	8
	4	28	16	4	20	2	29	50	42	20	6	25
	5	55	43	0	44	3	38	58	47	6	10	48
	6	46	84	1	26	2	16	51	33	18	19	52
8月	1	37	92	0	29	2	71	36	75	7	18	41
	2	68	25	0	33	2	89	165	90	14	24	226
	3	23	22	5	36	1	218	304	116	51	85	<b>408</b>
	4	86	30	8	58	1	280	320	188	34	132	177
	5	98	51	10	49	12	161	<b>416</b>	188	20	85	96

注：1) 南さつま市(旧加世田市)，2) いちき串木野市湊町(旧市来町)，3) 薩摩川内市東郷町  
4) 鹿屋市細山田

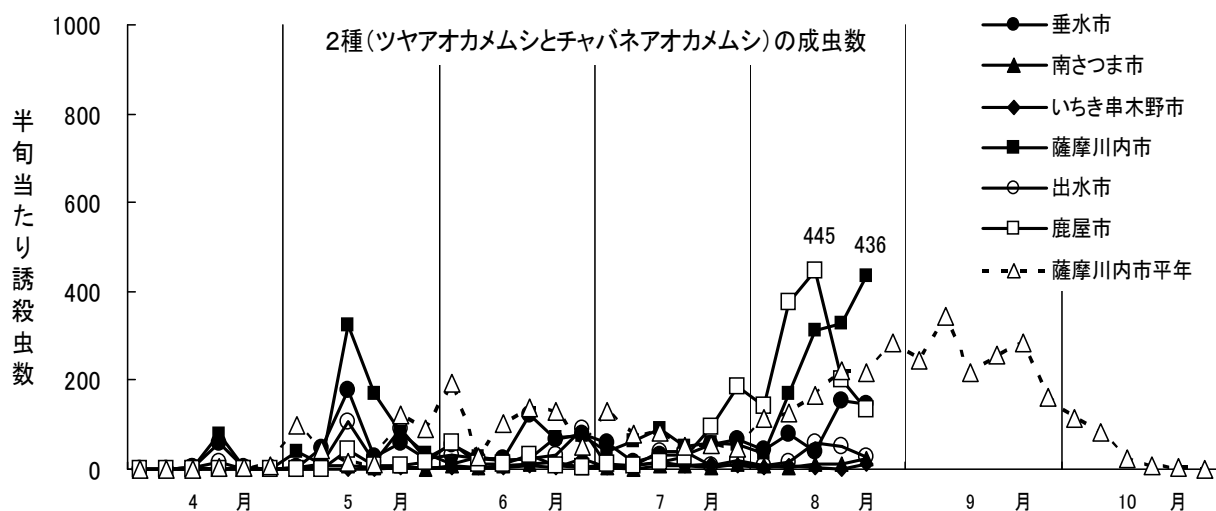


図1 予察灯におけるカメムシ類（2種計）の誘殺状況（平成21年）

表2 ヒノキでのカメムシ類寄生状況（7～8月調査）

調査場所	平成20年度				平成21年度			
	7月上旬	7月下旬	8月上旬	8月下旬	7月上旬	7月下旬	8月上旬	8月下旬
いちき串木野市1	23(19)	40(20)	34(20)	30(24)	9(6)	25(12)	22(8)	6(3)
いちき串木野市2	17(8)	37(19)	41(24)	42(24)	20(7)	19(11)	13(9)	4(1)
薩摩川内市東郷町	1(1)	7(7)	11(11)	26(23)	2(2)	10(2)	8(6)	11(9)
さつま町	0(0)	8(3)	23(14)	32(18)	13(6)	23(8)	23(5)	24(8)
阿久根市	2(2)	32(20)	43(30)	48(32)	9(8)	19(9)	26(17)	16(6)
出水市高尾野町	2(2)	30(20)	21(16)	47(36)	2(1)	10(4)	7(5)	5(3)
出水市1	3(3)	15(4)	25(19)	27(18)	10(6)	10(4)	10(6)	4(3)
出水市2	5(2)	18(8)	45(36)	21(19)	4(4)	13(9)	13(12)	10(7)
霧島市溝辺町1	-	-	-	-	1(1)	11(4)	11(1)	35(27)
霧島市溝辺町2	-	-	-	-	0(0)	17(8)	26(12)	24(18)
垂水市1	7(6)	18(2)	14(9)	4(1)	5(4)	22(12)	19(9)	9(4)
垂水市2	4(4)	19(1)	8(3)	3(2)	-	-	-	-
南さつま市加世田	4(4)	22(15)	15(7)	7(7)	0(0)	8(5)	3(1)	2(0)
日置市吹上町	5(4)	29(12)	42(32)	34(31)	-	-	-	-
平均	5.4(4.1)	22.9(10.9)	26.3(17.9)	26.8(19.5)	6.2(2.5)	15.6(8.4)	15.1(7.4)	12.5(7.4)

注) 1. 調査日：平成21年7月3～6日（月上旬），7月22～23日（月下旬），8月3日～4日（月上旬），8月19日～21日（下旬）

2. 調査方法は，2ヶ年とも1地点で5ヶ所を選定し，防虫網によりそれぞれ10回振り落としした。

3. 数字は，成虫・幼虫の合計値で，（ ）内は成虫数である。

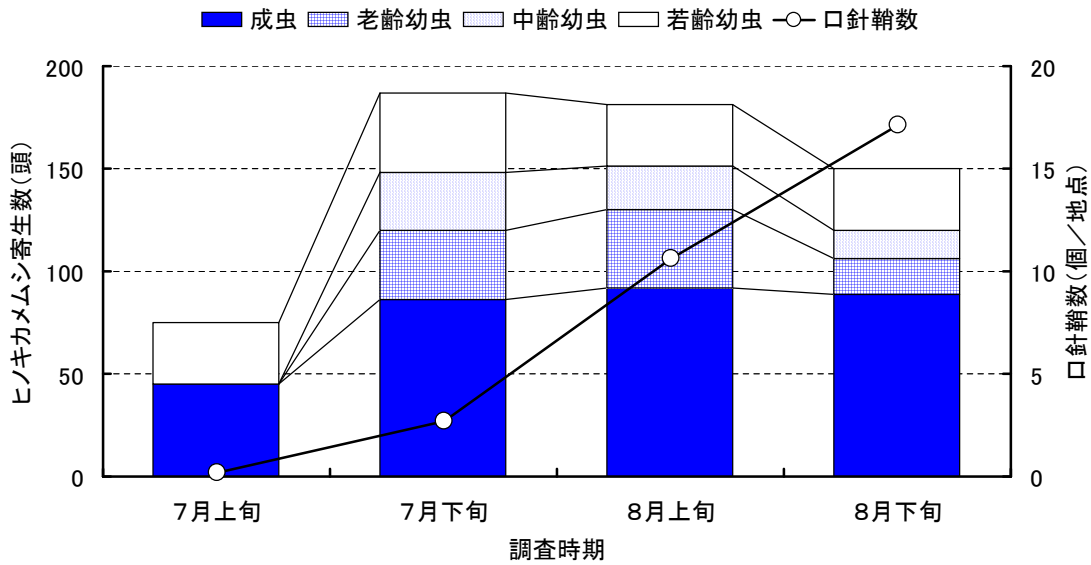


図2 ヒノキでのカメムシ類（2種計）の寄生推移（県内12地点平均）